

事業所における自己評価結果(公表)

公表：2020年 3月 6日

事業所名 くろーばーひがしはら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7		スペースを区切って、室内活動や学習する児童に対応できるようにしている。	今後、活動エリアの工夫等も含め必要に応じて検討していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	1	児童指導員以外にも、教員免許等を持っている職員がいることで多様な支援ができています。	職員配置に抜けがないよう確認していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7		スロープになっている為、外から車椅子で入れられるようになっている。	今後、必要に応じて検討していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7		問題の提示や対応策について、職員間で共有しおこなっている。	今後は、内容を充実させていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			職員全員で内容を確認し、業務改善につなげていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7		ホームページにて公開しています。	ホームページ以外の方法も検討していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		7		外部評価は受けていません。今後、必要に応じて検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		外部の研修については、自主的に参加の希望があった場合は参加してもらっている。	外部の研修は、必要に応じてピックアップをおこない参加させています。 内部の研修については基本、全員参加しておこなっています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7		年齢や障害、困りごとに応じてアセスメント方法を変えたりしています。	ニーズ、課題、評価をしっかり保護者と共有しながら計画を作成していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7		アセスメントシート等を使用しています。	アセスメントツール等を用いて、状態の把握をおこなっていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		ミーティングを通して、意見を出してもらい決めています。	今後も、管理者、児発を中心に会議を通して職員全員でおこなっていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		ミーティングを通して、意見を出してもらい決めています。地域資源の活用も検討しています。	児童の成長や発達の状態などに合わせた、プログラムを提供できるようにしていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7		1人1人の状態に合わせて話し合い設定しています。	今後さらに、必要に応じて対応していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7		1人1人の目標に沿った計画を作成しています。	今後も、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ作成していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		利用児童や支援の確認等をミーティングをおこない確認しています。	今後も、ミーティングをおこない必要事項や注意事項を確認していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2	その日の送迎状況や、児童の迎えの状況によって変わりますがミーティングをおこなっています。	情報共有を徹底していきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		適切に記録をおこなっています。記録内容を共有して支援内容に繋がっています。	記入漏れ等、無いように徹底していきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7		保護者とのコミュニケーションを図りながら、必要性を判断しています。	定期的にモニタリングをおこなっています。見直しの必要がある場合は、適切な時期におこなえるようにしていきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	7			今後も、ガイドラインの総則に合わせた支援に取り組んでいきます。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7		必要に応じて、児童指導員等にも参加してもらっています。	今後も、必要に応じて積極的に参加していきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7		担任の先生とその都度、確認させてもらいFaxや電話を使用しておこなっています。毎月、送迎状況をお伝えしています。	今後も、その都度確認をおこなっていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7		現在は医療的ケアが必要な児童がいません。	必要があれば可能な限り対応していきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7			今後も、家族の意向や同意をもとに進めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7			家族、学校、他施設と連携し情報の共有に努めています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7			今後も、必要に応じて助言等を聞かせて頂きます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	1	図書館や公民館などの公共施設、地域のイベントや催し物への参加を多数行い、障がいのない子どもと関わる機会を作っています。	児童館などの活用も検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7		他事業所の児童発達支援管理責任者が集まりワーキングをおこない情報共有をしています。	今後も、研修やワーキングに積極的に参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		送迎時やお迎え、連絡ノート等を使って共通理解できるようにしています。	今後も、必要に応じて電話や直接話しを聞く機会などを作り、共通理解できるようにしています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7		専門的に支援はおこなっていませんが、簡単なアドバイスはおこなっています。	今後、積極的に研修や勉強会に参加し、知識向上していきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7		送迎時やお迎え、連絡ノート等を使って説明しています。	現状の報告を継続していき、疑問等を丁寧に対応していきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7		相談を受けた際には、情報の共有をおこない助言や支援に繋がっています。	今後も、必要に応じて、電話や直接話しを聞く機会などを作り、助言や支援を出来るようにしていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		7	以前、開催した事があったが、時期や内容について検討していきます。	今後、検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7		相談を受けた際には、すぐに確認をおこない話し合いをおこなっています。その後の対応方法などを保護者に伝えています。	迅速に対応できるよう心掛けていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7		お便りやホームページにて活動の様子を伝えていきます。	今後もお便りやホームページを活用し情報を発信できるようにしていきます。
	35	個人情報に十分注意しているか	7		ダブルチェックをして確認しています。	十分注意して取り扱っていきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		伝わりやすい方法を検討し、日々試行錯誤しています。	今後も、1人、1人に合った対応方法を見つけて配慮できるように心がけていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	2		今後、検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7		職員へのマニュアルの周知はおこなっています。	随時、内容の見直しをおこない、周知徹底できるようにしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		定期的に訓練をおこなっています。	今後も、様々な災害を想定し定期的に訓練をおこなっていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7		年に1回程度、虐待研修をおこなっている。	今後も、外部、内部の研修に積極的に参加し、入職時に研修もおこなっていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				今後も、利用開始時に聞き取りをおこなっていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7		ミーティングにて系列事業所の事故も共有し再発防止に努めている。	今後も継続して、事故を防止できるようにしていきます。